

平成30年9月4日

平成30年度中小企業診断士第1次試験における答案用紙の所在不明について

指定試験機関

一般社団法人 中小企業診断協会

平成30年8月4日（土）・5日（日）に実施しました平成30年度中小企業診断士第1次試験において、8月4日（土）に東京地区の試験会場で受験した受験者の「財務・会計」の答案用紙（マークシート）1枚が所在不明となっております。

当該答案用紙を提出した受験者については、「財務・会計」を科目合格として取り扱うこととし、本人に謝罪するとともに、その旨をお伝えいたしました。

受験者の皆様には、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

1. 経緯

答案用紙のデータ読み取り業者から、「財務・会計」の答案用紙1枚が不足している旨の連絡が当協会にありました。連絡を受けた後、当協会では、試験会場およびデータ読み取り受託事業者施設の探索や関係者からのヒアリングによる状況確認など、現在まで調査を行ってきましたが、答案用紙の発見には至っておりません。

2. 所在不明となった状況

8月4日（土）の試験当日、「財務・会計」の試験終了後、試験室内における試験監督員による回収した答案用紙の枚数と出席者数の確認、試験会場事務局における回収した答案用紙の枚数と出席者数の複数回確認を行ったうえで、用紙管理責任者が回収した答案用紙を専用コンテナに収納して封印をしました。当日の全科目の試験終了後、用紙管理責任者は専門運送業者に専用コンテナを引き渡しました。

専門運送業者は、答案用紙を収納した専用コンテナを答案用紙のデータ読み取り業者の作業場に搬送しました。

データ読み取り業者は、答案用紙のデータ読み取り作業後、読み取りデータを出席者数と照合したところ、読み取り枚数と出席者数が相違していることを認識したものです。

3. 原因および再発防止策

このたびの件については、答案用紙が所在不明となった時点を特定できていないことから、今後は、試験会場事務局における専用コンテナ収納前の複数名による答案用紙の枚数確認およびデータ読み取り業者作業場への搬送時における答案用紙の枚数確認を行うとともに、答案用紙回収および読み取りのプロセスについて管理体制の一層の強化を図ることとします。

これらの再発防止策については、当協会が関連業者に提示する業務マニュアルなどに盛り込み、その周知徹底を図ることとし、再発防止に万全を期してまいります。

以上

お問い合わせ先
一般社団法人 中小企業診断協会
試験業務課
電話：03-3563-0851(代表)